

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	335,511千円	414,623千円	454,661千円	0千円
	総人件費	12,303千円	13,422千円	12,738千円	
	総事業コスト	347,814千円	428,045千円	467,399千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	01 庁舎維持管理事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-											
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度															
	-	実績	-	-	-	-	-	-	-															
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-												
	-		<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎の各設備の整備 本庁舎執務室のレイアウトの改善について検討する。 大穂庁舎の老朽化した設備の改修 				<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎執務室のレイアウトの改善について検討する。 大穂庁舎の老朽化した設備の改修 																	
	-		-				-																	
市長公約	-	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎の維持管理業務を実施する。 本庁舎のエレベーター等の修繕工事等を実施する。 関係部署と本庁舎執務室のレイアウトについて検討する。 大穂庁舎の老朽化した設備の修繕工事等を実施する。 複数年契約の満了に伴い、本庁舎及び大穂庁舎の設備管理業務委託等について、仕様書の見直しを行う。 				<ul style="list-style-type: none"> 関係部署と本庁舎等の執務室のレイアウトについて検討する。 分庁舎の建設事業を進める。 大穂庁舎の衛生設備(トイレ)の改修を実施する。 庁舎等の施設について、公共施設自主点検マニュアルを運用する。 				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初									
個別計画	-		活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎維持管理工事 本庁舎 39件／大穂庁舎等 13件 庁舎エレベーターのロープを交換する工事を実施 総務部とワーキンググループを立ち上げ、本庁舎及び春日庁舎(春日プラザ)のレイアウトを検討・実施 大穂庁舎外壁の防水工事を実施 本庁舎及び大穂庁舎における設備管理業務委託等について、仕様書を見直し、入札を執行 				<ul style="list-style-type: none"> 上半期活動実績 				事業費(A)	234,987千円	312,373千円	339,937千円	0千円								
根拠法令等	-											成果	<ul style="list-style-type: none"> 契約に基づいた工事の着工及び委託契約の締結により、庁舎の適切な維持管理を図ることができた。 春日庁舎(春日プラザ)に執務室を設置することにより、庁舎の執務環境の改善が図れた。 				<ul style="list-style-type: none"> 上半期成果 				国庫支出金	1,262千円	996千円	0千円
事業分類	F 施設等維持管理事業	課題																			<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎について、各設備の老朽化が進んでいるため、改修の検討が必要である。 			
執行体制	一部委託		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円																	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎及び旧2庁舎(春日庁舎を除く)の施設・設備等の維持管理を行い市民の利便性と事務事業の効率化を図るため。 		<ul style="list-style-type: none"> 旧庁舎(解体までの維持管理) 本庁舎(各種業務委託の実施:設備管理, 植栽管理, 廃棄物運搬, 等) (維持管理のための修繕・改修工事等) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の進捗状況 達成 改善目標の進捗状況 達成 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の進捗状況 - 改善目標の進捗状況 - 	その他特財	47,215千円	44,806千円	45,922千円	0千円														
		一般財源				186,510千円	266,571千円	294,015千円	0千円															
事業の概要										人件費(B)	5,862千円	6,035千円	6,035千円											
										正職員	従事割合	0.60人	0.70人	0.70人										
ISO 14001	H29 環境関連性	-									時間外勤務	553.00時間	420.00時間	420.00時間										
	H30 環境関連性	-									臨時職員等	有	有	有										
											事業コスト(A+B)	240,849千円	318,408千円	345,972千円										
											H31年度当初積算根拠	-												
											H31年度の方向性	-	理由	-										
ISO 14001	環境関連性	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-													
				効率性	中:適切な費用対効果が得られている					効率性	-													
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-													

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	335,511千円	414,623千円	454,661千円	0千円
	総人件費	12,303千円	13,422千円	12,738千円	
	総事業コスト	347,814千円	428,045千円	467,399千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	02 庁舎清掃・警備委託事業				指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-							
	-				実績	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-					・警備員の採用基準について検討する。				-					-					
	-					-				-					-					
市長公約	-				事業計画	-				-				内訳	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	-					・警備業務(平日及び休日の警備業務)を実施する。 ・清掃業務(日常清掃及び定期清掃等)を実施する。 ・複数年契約(2年間)の満了に伴い、庁舎の清掃・警備業務委託について、仕様書の見直しを行う。				・委託事業の執行管理を行う。					事業費(A)	62,023千円	62,002千円	65,583千円	0千円	
根拠法令等	-					-				-					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	-				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	全て委託					・日常清掃の実施(開庁日) ・定期清掃の実施 各フロア等年2回 ・24時間警備の実施 ・本庁舎における清掃・警備業務委託について、仕様書を見直し、入札を執行 ・警備員の採用年齢の見直しを実施				上半期活動実績				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	清掃については、庁舎を良好に維持し、衛生的かつ快適な職場環境を保つため。また、警備については、本庁舎における警備及び時間外の電話対応による、庁舎の保全と市民サービス向上のため。					-				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	本庁舎の清掃業務及び警備業務の実施				成果	・清掃によって庁舎の衛生的かつ快適な環境の保持を図ることができた。 ・24時間警備による時間外の電話対応・書類受取等による市民サービスの向上が図れた。				上半期成果				一般財源	62,023千円	62,002千円	65,583千円	0千円		
						課題	-				-				人件費(B)	2,384千円	2,894千円	2,184千円	/	
							-				-				-				正職員	従事割合
ISO 14001	H29 環境関連性	-			評価	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-					
	H30 環境関連性	-				有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-				H31年度の方向性	-	理由	-		
	-					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-					-				
-				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	335,511千円	414,623千円	454,661千円	0千円
	総人件費	12,303千円	13,422千円	12,738千円	
	総事業コスト	347,814千円	428,045千円	467,399千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	03 総合案内・電話交換委託業務	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
			-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-	実績	H29年度	H30年度	-				その他の指標	-							
			-	-	-												
市長公約	-	改善目標	H29年度				H30年度				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-		<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の金銭に関する落し物の取扱いについて検討する。 				-					事業費(A)	23,588千円	23,588千円	26,136千円	0千円	
根拠法令等	-	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・総合案内業務を実施する。 ・電話交換業務を実施する。 ・市が関係する催事等の情報提供を関係部署に依頼する。 ・落し物の取扱いについて、マニュアルを作成する。 ・複数年契約(3年間)の満了に伴い、庁舎の総合案内・電話交換業務委託について、仕様書の見直しを行う。 				<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業の執行管理を行う。 ・庁舎の電話交換業務委託について、入札を執行する。 				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	F 施設等維持管理事業		活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改編及び人事異動に伴う適正な案内等の対応 ・総合案内にあった市民からの要望等の担当部署への報告 ・イントラで会議室を予約する際に、情報提供を促す表示をポップアップするように改良 ・金銭の落し物について、マニュアルを作成して職員に通知 ・庁舎の総合案内・電話交換について、仕様書を見直し、入札を執行 ・総合案内業務に閉庁日の日直業務を追加 				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	全て委託	成果		<ul style="list-style-type: none"> ・電話及び総合案内による対応により、情報提供サービスの向上を図ることができた。 ・催事等の情報提供により、来庁者への案内等のサービス向上が図れた。 				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	・多種多様なニーズに対し、より迅速かつ的確な対応を行い、市民サービスの向上を図るため。		課題	-				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	本庁舎の電話交換及び総合案内業務の実施。	事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	-				一般財源	23,588千円	23,588千円	26,136千円	0千円		
ISO 14001	H29 環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		事業の進捗状況	-				H31年度当初積算根拠	-				
	H30 環境関連性	効率性		中：適切な費用対効果が得られている		有効性		-									
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	効率性	-				H31年度の方向性	-	理由	-		
						総合評価	-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	335,511千円	414,623千円	454,661千円	0千円
	総人件費	12,303千円	13,422千円	12,738千円	
	総事業コスト	347,814千円	428,045千円	467,399千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	05	高濃度PCB廃棄物運搬・処理委託事業	指標名	処理数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	処理した高濃度PCB廃棄物の数		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	150台	5台	-	その他の指標	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	H29年度				H30年度				-		
	-	-	-	改善目標	-				改善目標	-				
	-	-	-	-	-				-	-				
市長公約	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
根拠法令等	PCB廃棄物特別措置法		事業計画	-				事業計画	・高濃度PCB廃棄物(安定器)について、処分場に搬送し、処分を実施する。					
事業分類	C 義務的事业		活動実績	・PCB廃棄物の処分を実施している中間貯蔵・環境安全事業(株)の説明会に参加				上半期活動実績	-					
執行体制	全て委託			-					-					
事業の目的	・法令に基づき、有害物質であるPCBを含有する廃棄物を適正に処理する。		成果	・PCB廃棄物の処分の手続き等について理解することができた。				上半期成果	-					
事業の概要	高濃度PCB廃棄物の処分場所への運搬及び処分		課題	-				課題	-					
ISO 14001	H29 環境関連性	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-		
	H30 環境関連性	-	有効性	-	効率性	-	有効性	-	効率性	-				
		地下水・土壌汚染の防止	評価	0				総合評価	-					
		・PCB廃棄物の処理事業の推進により、PCBの漏洩の可能性が減少し、地下水・土壌汚染の防止に貢献する。	H31年度の方向性		-	理由	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	12,699千円	7,868千円	6,986千円	0千円
	総人件費	7,071千円	6,852千円	6,852千円	
	総事業コスト	19,770千円	14,720千円	13,838千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	財産管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	12	市有土地建物の管理に要する経費

事務事業名	01 市有地の管理事業				指標名	市有地除草件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	生活環境保全のために実施する除草作業の回数			
	目標値				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-				年2回				年2回										
	-				年2回				年2回										
総合戦略	-				-				-										
	-				-				-										
市長公約	-																		
個別計画	-																		
根拠法令等	つくば市公有財産規則																		
事業分類	A 任意的事業																		
執行体制	一部委託																		
事業の目的	市が所有する土地(普通財産)を良好な状態に維持管理するため。 普通財産が経済的価値を十分に発揮するように運用するため。				活動実績				上半期活動実績										
					市有地除草業務委託(年2回) 市有地内の樹木剪定伐採等 つくば市公有財産管理委員会の開催 未利用市有地の売払い(廃道敷等)・貸付け				市有地除草業務委託(年2回) 市有地内の樹木剪定伐採等 つくば市公有財産管理委員会の開催 未利用市有地の売払い(廃道敷等)・貸付け										
事業の概要	市有地の取得, 処分, 貸し付け等について, 庁内各部及び市民からの協議依頼に基づき随時実施する。 未利用の市有地(普通財産)については, 生活環境保全等のために年2回の除草作業を行う。				成果				上半期成果										
					市有地(普通財産)を維持管理し, 良好な状態に保つことができた。 払下げ申請のあった廃道敷地(普通財産)を売払い, 管理面積の削減及び市の財源確保ができた。				-										
				課題				課題											
ISO 14001	H29 環境関連性	○ 廃棄物発生抑制		達成	事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況				-					
	市有地(普通財産)の除草等を適正に行うことで, 不法投棄の抑止につながる。																		
ISO 14001	H30 環境関連性	○ 廃棄物発生抑制		達成	事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況				-					
	市有地(普通財産)の除草等を適正に行うことで, 不法投棄の抑止につながる。																		
				評価				評価				H31年度の方向性							
				有効性				中:適切な成果が得られている				有効性				-			
				効率性				中:適切な費用対効果が得られている				効率性				-			
				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				-			
												理由				-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	112,720千円	118,904千円	125,219千円	0千円
	総人件費	7,777千円	6,667千円	6,667千円	
	総事業コスト	120,497千円	125,571千円	131,886千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	13	車両管理に要する経費

事務事業名	01	公用自動車の管理事業	指標名	公用車の維持管理台数				指標種別	活動結果指標	指標の概要	管財課で維持管理を行う車両台数				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
戦略プラン	-	-	-	-	329台	327台	325台	325台	325台	325台	325台				
	-	-	-	-	実績	328台	316台	321台	317台	-					
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度						
	-	-	-	-	改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止の啓発 公用車未使用者の是正 				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止の啓発 				
	-	-	-	-	その他の指標	-									
市長公約	-														
個別計画	公用車の効率的運用及び管理		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員等に対し安全運転の周知を行なう他、事故者に対し、使用制限等について検討する。 安全な車両を維持するため、定期点検等を実施し車両の安全管理を行う。 老朽化した車両を入替え、新規リース車へ移行する。 有料道路の利用及びETCカード使用基準を適用し、利用の抑制を図る。 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員等に対し安全運転の周知を行なう他、事故を複数起こした職員に対しては、使用制限等について検討する。 安全な車両を維持するため、定期点検等を実施し車両の安全管理を行う。 老朽化した車両を入替え、新規リース車へ移行する。 有料道路の利用及びETCカード使用基準を適用し、利用の抑制を図る。 						
根拠法令等	つくば市公用車の適正管理及び安全運行に関する規程			活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 車検90台、定期点検46台(買取車両)、任意保険加入190台(買取車両)、修繕(のべ109台)、リース契約66台(再リース27台含む)、廃車8台(買取車) 警備員が集中管理の公用車の予約時間を管理し、運行記録を入力 集中管理車の一部を当日予約に変更 イントラにて、事故防止を啓発 出先機関において、使用頻度が少ない公用車の共同利用を進め、効率化を図った。 給油カードの紛失が発生したことから、運行記録表に記録するようにした。 				上半期活動実績	-					
事業分類	D 内部管理事業		成果		<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した車両を廃車し、出先機関での共同利用を進めることで、適正な公用車の配置が図れた。 警備員が運行記録の入力及び予約時間の管理を行うことにより、公用車の効率的な運行が図れた。 市で行う各種事業に貢献した。 集中管理者の一部を当日予約にすることで、車両の効率的な利用を進めることができた。 					上半期成果	-				
執行体制	職員のみ			課題	<ul style="list-style-type: none"> 公用車の事故防止 				課題		-				
事業の目的	公用車の維持管理を行い、安全な運行ができる状態を維持するため。		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況		達成		事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
	事業の概要	車検、定期点検、任意保険加入、修繕、リース契約、車両購入、廃車、運行予約、記録入力の管理		達成	達成		達成	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-			
ISO 14001		H29 環境関連性	○ 大気汚染の防止	達成	古くなった車両を廃車し、最新の低公害車を導入することで、環境に最大限配慮する。		達成	有効性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-			
	H30 環境関連性	○ 大気汚染の防止	達成	古くなった車両を廃止し、最新の低公害車を導入することで、環境に最大限配慮する。		達成	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-				
事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	事業実施コスト						H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
事業費(A)		106,642千円	110,611千円	114,401千円	0千円	事業費(A)						106,642千円	110,611千円	114,401千円	0千円
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	国庫支出金						0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金						0千円	0千円	0千円	0千円
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	地方債						0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財						0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源		106,642千円	110,611千円	114,401千円	0千円	一般財源						106,642千円	110,611千円	114,401千円	0千円
人件費(B)		3,955千円	3,718千円	3,718千円		人件費(B)						3,955千円	3,718千円	3,718千円	
内訳	正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人	従事割合						0.50人	0.50人	0.50人	
		時間外勤務	110.00時間	65.00時間	65.00時間	時間外勤務						110.00時間	65.00時間	65.00時間	
臨時職員等		無	無	無		臨時職員等						無	無	無	
事業コスト(A+B)		110,597千円	114,329千円	118,119千円		事業コスト(A+B)						110,597千円	114,329千円	118,119千円	
H31年度当初積算根拠		-													
H31年度の方向性		-	理由	-											

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	112,720千円	118,904千円	125,219千円	0千円
	総人件費	7,777千円	6,667千円	6,667千円	
	総事業コスト	120,497千円	125,571千円	131,886千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	13	車両管理に要する経費

事務事業名	02 バス運行管理事業				指標名	乗車人数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	行政バスへの乗車人数																																
	戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																																			
				実績	13,138人	12291人	11,312人	9,357人	-																																							
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-																																	
						・今後のバス利用及び運用方法の検討				・バス車両の老朽化対策の検討 ・バス車両の故障の防止																																						
市長公約	-				事業計画	・バスの配車申請承認 ・定期点検の実施, 車両の維持管理				・バスの配車申請承認 ・定期点検の実施, 車両の維持管理 ・バス車両のリース契約の検討				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初																														
個別計画	-													事業費(A)	6,078千円	8,293千円	10,818千円	0千円																														
根拠法令等	つくば市公用車の適正管理及び安全運行に関する規程 行政バス利用規程													活動実績	・配車回数 376回 ・乗車人数(延べ) 9,357人 ・定期点検の実施, 車両の維持管理 ・バス車両のリース契約の検討 ・バス1台を消防本部に移管				内訳				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																					
	事業分類	D 内部管理事業				成果	・市の各種事業が円滑に実施できた。				上半期成果												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																					
		執行体制	全て委託																				課題	・バス車両の老朽化				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円												
			事業の目的	市で行う各種事業を円滑に遂行するために, 安心かつ安全に送迎等を行う。また, 車両の整備・点検を行う。																												事業の概要	・行政バスの配車申請承認 ・運転手等については、運転整備管理業務委託で契約				上半期成果				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
				ISO 14001	○ 天然資源の枯渇防止 達成																																				事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況		達成
					評価	有効性 中:適切な成果が得られている				有効性				-	H31年度当初積算根拠																																	
				○ 天然資源の枯渇防止				効率性 中:適切な費用対効果が得られている				効率性				-	H31年度の方向性				-	理由	-																									
				定期点検実施により, 車両を適正な状態に維持し, 燃料の無駄な消費を削減している。				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				-																																

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	19,728千円	22,036千円	20,472千円	0千円
	総人件費	2,463千円	2,386千円	2,386千円	
	総事業コスト	22,191千円	24,422千円	22,858千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	財産管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	14	事務機器管理に要する経費

事務事業名	01 事務機器の管理事業				指標名	複合機パフォーマンスチャージ料				指標種別	活動結果指標		指標の概要	庁舎設置の複合機に係るパフォーマンスチャージ料金				
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
				実績	11,683千円	15,506千円	15,643千円	15,864千円	15,669千円	-	-							
				実績	15,636千円	15,872千円	15,668千円	16,013千円	-									
				H29年度				H30年度										
総合戦略				改善目標	・複合機での不要な印刷及びカラー印刷の抑制について、庁内へ更に周知徹底する。				改善目標	・複合機での不要な印刷及びカラー印刷の抑制について、庁内へ更に周知徹底する。				その他の指標				
市長公約																		
個別計画				事業計画	・複合機及び印刷機(モノクロ, カラー)の維持管理 ・庁舎シュレッダーの維持管理 ・モノクロ印刷機の入替え(4月)				事業計画	・複合機及び印刷機(モノクロ, カラー)の維持管理 ・庁舎シュレッダーの維持管理 ・春日庁舎(春日プラザ)移転に伴うコピー機の設置 2台				事業実施コスト				
根拠法令等												H28年度決算						
事業分類				D 内部管理事業								H29年度決算						
執行体制				職員のみ								H30年度当初						
事業の目的				・事務機器の効率的かつ効果的な運用管理のため。				活動実績				H30年度当初						
事業の概要				・複合機及び印刷機等の管理運用 ・消耗品等の発注及び在庫管理 ・故障等の修繕依頼 ・各種契約事務, 料金支払				成果				H31年度当初						
				課題				課題				積算根拠						
				○ 天然資源の枯渇防止 達成				事業の進捗状況				H31年度当初積算根拠						
H29 環境関連性				複合機での不要な印刷を抑制することで、紙・インク等を削減できる。				達成				理由						
ISO 14001				○ 天然資源の枯渇防止				有効性				H31年度の方向性						
H30 環境関連性				複合機での不要な印刷を抑制することで、紙・インク等を削減できる。				中:適切な成果が得られている				理由						
				評価				効率性										
				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	15,667千円	3,952千円	12,023千円	0千円
	総人件費	2,291千円	1,511千円	2,222千円	
	総事業コスト	17,958千円	5,463千円	14,245千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	17	駐車場維持管理に要する経費

事務事業名	01	庁舎駐車場の管理事業	指標名	駐車場料金徴収金額(単位:千円)				指標種別	活動結果指標	指標の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の庁舎職員駐車場及び各施設の駐車場使用料 ・一般利用者による庁舎駐車場使用料 					
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
	-		実績	34,171千円	35,877千円	35,800千円	35,800千円	35,800千円	35,800千円			35,800千円				
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度			その他の指標	-				
	-		改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎駐車場の案内表示の充実 				<ul style="list-style-type: none"> ・公用車駐車場所の検討 ・公用車駐車場の案内看板の充実 								
市長公約	-		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎駐車場の維持管理を実施する。 ・庁舎駐車場に外国人向け案内表示を設置する。 ・各施設の要望を受け、職員駐車場の補修等を実施する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の維持管理を実施する。 ・各施設の要望を受け、職員駐車場の補修等を実施する。 ・庁舎公用車駐車場に案内表示を設置する。 ・分庁舎建設に伴い不足する公用車駐車場についての検討 				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-											活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場料金の徴収 来庁者： 2,729,500 円 職員： 37,084,990 円 ・駐車場修繕・工事 4件(職員駐車場 4件含む) ・職員駐車場2に外国人向け案内表示を設置(英語) 			
根拠法令等	つくば市駐車場条例及び施行規則 つくば市職員等の駐車場の使用について(伺定)		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の修繕及び案内看板の設置を実施することにより、駐車場の適正な利用が図れた。 ・土日の駐車場の開放に伴う市の財源確保ができた。 				<ul style="list-style-type: none"> ・上半期成果 				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	F 施設等維持管理事業											課題	<ul style="list-style-type: none"> ・分庁舎の建設に伴い、公用車駐車場が利用できなくなるため、公用車駐車場所の不足が見込まれる。 ・公用車駐車場に駐車する一般車両の増加 			
執行体制	一部委託		事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場料金の徴収、修繕整備 				<ul style="list-style-type: none"> ・- 				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	駐車場料金の徴収及び修繕整備を行うことにより、適正な駐車場の維持管理を行うため。											事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況
ISO 14001	H29 環境関連性	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-	H31年度当初積算根拠	人件費(B)	2,291千円	1,511千円	2,222千円	
	H30 環境関連性	-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-		正職員	従事割合	0.30人	0.20人	0.30人
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-	時間外勤務	35.00時間	35.00時間	35.00時間				
											臨時職員等	有	有	有		
											事業コスト(A+B)	17,958千円	5,463千円	14,245千円		
											H31年度当初積算根拠	-				
											H31年度の方向性	-	理由	-		